

「これは、主がなさったことで、私たちの目には不思議に見える。」

(マルコによる福音書12章10節)

## ○親にとって「子ども」とは?? 麻生教会成人祝福式

幼稚園の教師たちはこの冬期休暇中に様々な研修に参加します。今年は1月5日(金)から研修会が続きました。これはある研修会で講師の先生から学んだことですが、みなさんは「子ども」は一体どのような存在であると考えているでしょう。日本では子どもについて「神様からの授かり物」と表現し、大事に育てるといふ文化があります。ですが、アメリカではど



のように言われているかということ、子どもは「神様から授かった『謎』」といわれるそうです。不思議な表現ですが、この言葉が妙に心にストーンと落ちて、山あり谷ありの子育てを乗り越える鍵がここにあるなど実感したのでした。

我が子たちを見ていてもその行動は確かに「謎」なのです。先日、長男と風呂に入る入らない問答をしたときのことで。一通りやりあった後、頑なに「入らない」と言うので「今日はもうお風呂に入らなくていいよ」と声をかけました。ですが、目を離れた一瞬の隙に・・・本当に一瞬の隙にです。自分が入浴しようと浴室の扉を開けると、そこにはすでに全裸で裸踊りをしている長男の姿が・・・本当に謎です。意味がわかりません。しかし楽しそうなことだけはよくわかります。日常がこの調子ですから正直、勘弁してもらいたい時もありますが、よくよく考えると大人のようにすべて親の指示通りに動く子どもがいたら変です。それでは子育ての楽しみもなくなってしまおうでしょう。また幼稚園の子どもたちを見渡すとそれぞれすばらしい可能性に満ちているのがわかります。「謎」というよりも「不思議」と表現した方が良いと思いますが、本人もよくわかっていないであろう程のすさまじいエネルギーに確かな方向性が与えられ、これが豊かに発揮されたならば、この子たちはどのような成長を見せるのでしょうか。幼児期に子どもの「ありのままの姿」を受け入れていくことがその第一歩であると信じています。子どもたちの成長が今からとても楽しみです。

先日、麻生教会では卒園生の新成人に声をかけ、成人祝福式を行いました。さすがに住所不定で戻ってきた案内が多いなか、3名の卒園生と再開することができました。その内の一人は4月からディズニーランドで働くそうです。彼らを担任として送り出した中村洋佳先生と共にその「謎」が紐解かれた姿を見ることができたことはとてもうれしいことでした。 麻生明星幼稚園 久保哲哉